

教育について 思うこと

岡崎信用金庫 会長

服部 晃 氏



教育随想

教育には、知育、体育、徳育があると言われている。学校教育の場では、やはり知育が中心となるのはやむをえないだろう。但し、体育の重要さは論ずるまでもなく、とりわけ徳育が一人の人間として、自立していく場合、大切だと思う。

勉強ができる、運動が得意ということはそれなりに意味のあることだが、例えば弱い者いじめを許さないという意気力は大きな価値のあることだと思う。いじめという行為は実に卑怯で、立派な犯罪行為である。学校側が見て見ぬふりをするとしたら、共犯行為といわれても仕方あるまい。まして、教師がいじめを助長するようなことが万一でもあったら、どんなに教え方の上手な教師でも、教師としての資格はゼロである。だが、いじめられる生徒の側にも問



平成19年8月1日

8月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想	1
岡崎信用金庫 会長 服部 晃氏	
この人に聞く	2
農学博士 大平 仁夫氏	
羅針盤	2
大門小学校長 野本 欽也	
ふれあい	3
奥殿小 坪井恵里子 矢作中 久田 賢作	
特集	4
生徒市議会	
お知らせ	6
フォト・ヒストリー	8
プール開き (昭和44年)	
この本を	8

題のある場合もあり、事柄は単純ではない。

しかし、それにしても日本国内で、いじめの多発は目にあまるものがある。学校だけでなく、家庭においても激増している。親が子供を虐待するということは昔はそれほど多くなかったように思うが、現代では日常茶飯事のごとく、家庭内のいじめ問題が報道されている。

一方、電車内で私のような老人に、席を譲るような若者の行為にはすが

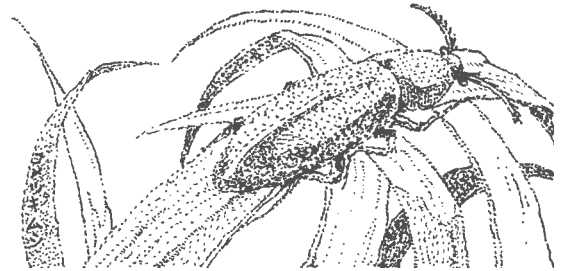
すが、しさを感ずる。困っている人の力になってあげるといふことはとても大切なことであり、単に勉強ができる、走るのが速いということよりも人間として価値の大きなことだと思う。だが、この徳育は学校だけでなく、出来ることでもなく、家庭の力も必要となろう。本当に難しいことだが、これからの日本を考えると避けて通れない課題だと考える。

(はっとり あきら)



ふるさとシリーズ

この人に聞く



自然の恵みの中で 生きる

農学博士
大平 仁夫氏

「岡崎ほど自然に恵まれているところは少ないですよ。川があり、山があり、水田があり、畑がある。また、歴史的な土壌がある。学問を育むのに本当に適した場所です。」

と、環境のすばらしさを語る大平さん。先日、自然環境功労者環境大臣表彰を受けられた大平さんの部屋は、天井までびっしりと書物に囲まれ、研究室そのものだった。

「小さいときから虫が好きで名和昆虫研究所に勤めました。それから

東京農大の昆虫研究室に行きました。終戦直後の食糧難のため農場で畑仕事をしていると、土の中に細長い幼虫を見つけました。それが、当時日本ではほとんど研究されていないコマツキムシとの出会いでした。それ以来ライフワークとして、コマツキムシの研究を続けています。」

二十歳のころ始められた研究を、七十七歳の現在も続けられている情熱と使命感に感銘を受けた。大平さんは、その後愛教大へ移り、技官として国立共同研究機構生理学研究所以（現在の自然科学研究機構生理学研究所以）の創設に携わり退官。現在は、市の環境審議会委員や各種観察会で講師を務められるなど、忙しい日々を送られている。

「昔は人間も自然の恵みの中で生きていたという考え方だったように思います。今はそれが失われていきますね。生物のサイクルも崩れていきます。たとえば、絶滅しそうな種を



育て、増やそうと思っても、周りの自然が崩れているから、そこでは長くは生きられません。もつと地球規模で取り組まなければ、なんともならないのです。」

環境問題に対する思いを、熱心に語る大平さん。「自然はある程度バランスを崩しても復元力がありますが、今はその復元力を超えてしまっています。わたしたち人間が、日本古来から生きてきた生物とその環境を破壊してはいけないし、守り、伝える責任があります。」

さらに、わたしたち教師にも一言、「先生たちには、ぜひ野外に出て虫に接してほしいし、観察に出かけてほしいですね。そして自然を感じる心を持ってほしい。日本には豊かな自然があり、四季の変化があります。自然を楽しもうと思えば、いつでも楽しめます。大人が野外に出て身近な自然を感じ取り、『あつ、鳥が鳴いたよ』と、折にふれて子供たちに気づかせていく。それが、子供に自然を感じる心を持たせることにつながるのではないのでしょうか。」

氏名 おおひら ひとお
生年月日 昭和四年十月四日
住所 岡崎市舞木町狐山六の四



今、教師に 求められていること

大門小学校長 野本 欽也

「歩くことを忘れないように」

この言葉は、わたしが愛知県の教員に採用され、東京を離れるときに、大学時代の恩師から贈られたものである。それ以来、恩師のように自分の足で確かめ、目で見て、納得のいくまで聞いて、一人前の教師に近づこうと心に決めて実行している。

今、わたしたち教師に求められているものは、常に「歩く・見る・聞く・考える」ということを忘れず、子供の成長を見守り、子供が自ら学ぼうとする姿勢を育てることであろう。だが、その前提として、

- ・人はそれぞれ違っていていること
- ・その人が生き生きと学び、成長することが大切であること
- ・知識・理解の習熟レベルの上下は、何ら人間力の優劣を示すものではないこと

大切なぼく・わたし

奥殿小 坪井恵里子

二年生のA子は、自分が納得できないと泣き出し、動かないことがあった。そのようなときは、A子の思いに共感し、状況に応じた言動を考えさせるなど、根気よく対話を繰り返した。すると、次第に落ち着きを取り戻すまでの時間が短くなってきた。

三学期、自分の誕生から今までの写真を集め、家族の思いを聞き取り、この世に一冊しかない「ぼく・わたしものがたり」という本を作る授業を行った。

A子は、自分がおなかの中にいるとき、一か月も寝ていた母親の苦労を知った。また、自分が誕生したときの家族の喜びや成長するその時々での思い出話を聞き、自分が家族に愛されて今ここに存在する喜びを、実感することができた。そして、家族からの手紙を読み始めると、照れながらも満面の笑みを浮かべた。自分の誕生を喜び見守ってきた姿や、これからの健やかな成長を心から願う母親の手紙に、A子は、「私を大切にしてくれてありがとう。信じてくれてありがとう」と、返事の手紙を綴った。A子が授業を通して、自分が家族にとつてかけがえのない存在である

ことを実感でき、全身で喜ぶ瞬間を共有できたことは、わたしにとつても大きな財産となった。

つくられる芸術と絆きずな

矢作中 久田 賢作

毎年、ゴールデンウィークが近くなると、「矢作川での砂の造形活動・アースワーク」の準備が始まる。芸術には疎いわたしであるが、生徒が協力し、汗を流してつくる姿に心を打たれ、感動をもらっている。

春休みの課題として出されていたアースワークの下絵。その中から代

表四点に絞る投票の結果、不安があると登校できないA男の作品が選ばれた。その場にいたA男は照れながらも心配そうな表情を見せていた。

アースワーク当日、集合時間になってもA男の姿はなかった。母親から電話があり、不安で行けないとのことだった。そのことを班員に伝えると「A男は来るから大丈夫」と頼もしい返事が返ってきた。日ごろから担任以上に行動を共にし、信頼関係を築いてきた班員の言葉である。

アースワークがはじまり一時間ほどして、A男がやってきた。班員の一人が迎えに行く。A男はそのまま仲間の中へ入って行った。作品が完成し、写真撮影の時にA男に声をかけると「選ばれて本当によかった」という言葉が返ってきた。A男の勇気と活躍、それを支える絆きずなを見ることのできた幸せな一日であった。



を忘れてはならない。大切なのは、その子その子に応じて生き生きと力を発揮することができるよう、指導し、支援することなのである。

わたしたち教師は、担当する教科などの授業力を磨くことだけではなく、子供の基礎的な人間力を育成する指導力をも求められている。

そのためには、適切に長所を褒めて自己肯定感を育てる、考えながら学ぶ楽しさを覚えさせる、共同作業を通して、共助の意義を理解させる、成果を強調して感動体験させるなどがポイントとなるであろう。

子供の人間力を高めるためには、教師自らの人間力を高める努力をすることも忘れてはならない。教師は、日常のあらゆる機会をとらえて、自己研鑽けんさんに努めるとともに、全校体制で指導力向上のための研修の場を多くしていくことが求められている。

また、地域との緊密な連携の重要性が叫ばれる昨今、教師には、地域の方々の協力を引き出す能力も欠かせない。わたしたちが取り組むべき課題は多い。

「歩く・見る・聞く・考える」をキーワードに、子供の成長に寄り添える学校づくりに、全職員一丸となつて取り組んでいこう。



▲第34回 生徒市議会（平成18年）

生徒市議会は、昭和四十八年に「生徒模擬市議会」として始まった。そして、「中学生から見た未来の岡崎」をテーマに今年で三十五回を迎える。この活動は、市政に関心を持ち、将来の岡崎市を担う子供たちを育成することをめざして行われている。

各中学校では、生徒市議会に向けて、生徒会を中心に市の行政について学習する。そこで、行政の特徴やこれからの市には何が必要なのかなどを調べ、質問や提案の内容を考える。それを各中学校の生徒会役員が持ち寄り、生徒会連絡協議会で検討する。その中で意見が活発に交わされることで、夢のプランが現実にならざる、より質の高いものになる。近年、提案の内容は、公助を求めるものから自らかわっていかうとする自助型になってきており、提案したものを学校や地域で実践していこうとする動きも見られるようになってきた。

生徒市議会の会議場では、真剣なまなざしの中学生と、質問や提案を受ける各部署との真摯（しんし）なやりとりが繰り広げられる。提案の中には実際に市政に反映されているものもある。昨年度、岩津中が提案した二ト対策事業は「中学校の職業教育支援セミナー」として予算化され、実施された。中学生の、柔軟で夢のある数々の提案は、市の関係者をはじめとした様々な人から注目されており、生徒市議会の傍聴席は毎年満席となる。

本年度の生徒市議会は八月二十一日に開催される。地震対策や住みよい街づくりなど、将来の岡崎市を担う中学生らしい提案と成果が期待される。

生徒市議会のあゆみ

昭和四十八年

第一回生徒模擬市議会が開催。生徒の各提案に対して、市が一括して答弁。

昭和五十六年

生徒の提案に対して、生徒自らが討議。

昭和五十八年

生徒市議会に名称を変更。

平成四年

「中学生フォーラム」を開催。一つのテーマについて、代表校が基調提案後、全体討議。

平成十五年

生徒の各提案に対して、市の担当部局が答弁。

平成十八年

分野ごとの一括提案に対して市の担当部局が答弁。



▲市議会議場内の様子

提案する

自然豊かな環境を生かした家族の絆を育むまちづくりを。

▲三世宅地供給事業「ちせいの里」(平成9年実現)

エコシール制度

ごみの減量をめざして市民ぐるみの活動を。

▲エコシール制度(平成13年実現)

禁煙活動を広く呼びかけるために、禁煙マスコットの募集を。

ぼくはスワン

▲禁煙マスコットキャラクター：スワン(平成18年実現)

額田地区の水を「額田仙水」とネーミングしてみては。

▲「額田仙水」の販売(平成18年実現)

一生徒の声が市政に反映される

▲職業教育支援セミナーの開催(岩津中 平成18年度実現)

▲「お役に立ち隊」の出動(矢作北中 平成18年度実践)

北野学区防災訓練のボランティア活動の要請に応じて参加。

来院や入院患者の心のいやし空間に利用できるものの要請に応じて贈呈。

▲市民病院に花と絵を贈呈(葵中 平成18年度実践)

実践する



●教育最新情報

○本市の不登校対策

平成十八年度、本市における不登校児童生徒数(年間三十日以上欠席)は、小学校五十八名(前年度比六名増)、中学校三百十五名(同十三名増)、合計三百七十三名(同十九名増)でした。

不登校の割合は、小学校〇・二六%(西三河地区〇・三六%)、中学校二・九三%(同二・七四%)でした。

本年六月末の集計では、小学校二十一名(〇・〇九%)、中学校百七十二名(二・五九%)となっています。

―各学校の懸命な取組―

このような状況を受け、各学校では全職員一丸となり、専門家や関係機関と連携を図

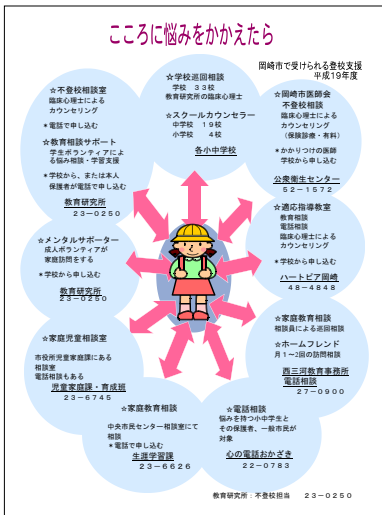
りながら献身的な対応をしています。

欠席が三十日未満の「準不登校」も含め現在の様子を見てみると、「悪化している」者は、小学校で三十五名、中学校で九十九名でした。

一方、回復傾向にある者は、小学校で二十三名、中学校で五十五名います。これまでの取組の成果が出ているものの、依然憂慮される状況です。

―教育研究所の支援―

学校の懸命な取組を支援するため、教育研究所では臨床心理士を一名増やし、月曜日の相談を増設し、金



曜日の「ハートピア岡崎」の相談と合わせ、年間六百時間の相談枠を増やしました。

また、人との関わりが苦手な子どもに家庭訪問を行う「メンタルサポーター」の派遣や、大学生の学校支援も増員しています。

さらに、緊急時の支援対応を検討したり、年間六回のケース会議やデイキャンプ(十月二十日(土)実施予定)を計画したり、左のようなチラシを作ったりして、各学校の取組を支援しています。

さらに、緊急時の支援対応を検討したり、年間六回のケース会議やデイキャンプ(十月二十日(土)実施予定)を計画したり、左のようなチラシを作ったりして、各学校の取組を支援しています。

●ハートピアだより

『天まで届け、私の願い』

―七夕、おたのしみ会―

今年も七夕の季節がやって来た。恒例のおたのしみ会は、あいにく、七日が土曜日なので、六日に行うことにした。

七夕飾りは、男女一本ずつ作った。今年も一人一人短冊に願いを書いたり、折り紙を折ったりした。

準備している部屋では、何を書いたらいいのか困って頭を抱えている子や、誰かに見られたらいやだと言って隠しながら書いている子も見られた。しかし、皆、今の立場を変えていくこと、健康のこと、将来の職業のことなど自分の願いを、一文字一文字しっかりと書いた。

昨年は短冊が多かったが、今年は、折り紙も多く飾られた。丁寧に折られた作品からは作った子の思いが出ているようであった。

前日の五日は、おたのしみ会のナンカレの準備をした。男子はナンの生地作り、女子はカレー作りをした。男子の部屋からは、生地をこねるパン、

パンという大きな音がしていた。始めは粉を触れなかつた子も、担当のA先生の「さあ、こうやって、のばすだよー」と大きな動作に誘われるように、指を粉でいっぱいにしてこねていた。みるみるうちに、生地ができた。



女子は、カレーの野菜切りに挑戦した。ニンジン、ジャガイモはハートピアでとれたものを使った。早く煮えるように、さいの目切りにした。おたのしみ会は、大学生のボランティアの方にも入ってもらい、俳句ゲームなどで盛り上がり上がった。ナンカレも鍋が空っぽになるくらいよく食べた。そこに、満足そうなおたのしみ会の顔がたくさんあった。子どもたちの短冊の願いや、折り紙の思いが、天まで届き、かなうことを祈った。

●表 彰

- ◆東レデジタルクリエイション
アワードジュニア2006
コンピュータグラフィックス
入賞 竜海中三年
- 平崎 瞳
- ◆社会貢献支援財団第五回
「こども読書推進賞」
奨励賞 根石小学校
フラワー・ブラボー・コン
クール春花壇(中央審査)
愛知県知事賞 上地小学校
- ◆秋の東山植物園FBCモデ
ル花壇設計図コンクール
名古屋市長賞
形埜小六年 中根みさき
- ◆愛知県小中学生団体卓球リ
ーグ
女子三部 二位 額田中学校
◆愛知県小学生リレー競走大
会
男子走り幅跳び 二位
六ツ美中部小五年 鳥居 凌大
- 女子四年五十メートル 三位
矢作東小四年 松本 扶弥
- 女子六年百メートル 六位
矢作東小六年 杉山 美貴
- 男子六年八十メートルH 八位
矢作東小六年 西尾 嘉晃

●海外四都市交流事業

「岡崎市中学生(姉妹都
市・友好都市・国際都市)交
流事業」として、ニューポー
トビーチ市(アメリカ)・呼和
浩特市(中国)・ウッデバラ市
(スウェーデン)・クアラルン
プールの市(マレーシア)との交
流活動を実施している。七月
にはニューポートビーチ市派
遣団を受け入れた。八月には
呼和浩特市とクアラルンプ
ール市、十月にはウッデバラ市
の派遣団を受け入れる予定で
ある。また、本年度の岡崎市
派遣団員は以下のとおりであ
る。



▲四都市親善訪問使節団結団式

◆平成19年度教科・領域基礎研修会一覧

月日	教科・領域	会 場	開講式 閉講式
8/1	国語(書写)	北部地域交流 センター	9:00 12:00
8/1	社 会	三菱自動車 岡崎工場	9:00 16:30
8/1	生 活	南部市民センター	9:30 12:00
8/1	総合的な 学 習	南部市民 センター分館	9:15 12:10
8/1	図工・美術	・おがき世界子ども美術館 ・岡崎市美術博物館	9:30 15:30
8/1	保健体育	広幡小学校	9:00 12:00
8/1	家庭科 (小学校)	大門小学校	9:15 12:00
8/1	技術・家庭科 (中学校)	岩津市民センター	9:10 12:30
8/1	英 語	六ツ美市民 センター	9:30 15:30
8/1	特別支援 教 育	教育研究所	9:30 15:30
8/1	学習情報	六ツ美北中学校	9:00 16:30
8/3	音 楽	シビックセンター	9:45 12:15
8/3	算数・数学	羽根小学校	9:00 16:10
8/3	理 科	六ツ美西部小学校	9:10 12:00
8/3	学校図書館	教育研究所	9:10 12:00
8/3	学校保健	岡崎市中央総合公園 野球場第1会議室	9:45 15:30
8/22 8/24	特別活動 (野外活動)	岡崎市少年 自然の家	9:00 15:00

姉妹都市 ニューポートビーチ市 10/2(月)~11(木)			
団 長	市教委 教育監	小林 義孝	副団長 竜美丘小学校 教諭 田中 芳子
団 員	竜海中学校 3年	加藤 凌右	団 員 葵中学校 3年 高橋 慧
団 員	福岡中学校 3年	塩崎 正代	団 員 東海中学校 3年 内田 祐一
団 員	常磐中学校 3年	佐々部英知	団 員 矢作北中学校 3年 山田 美里
友好都市 呼和浩特市 9/6(木)~14(金)			
団 長	美川中学校 校長	石原比朗志	副団長 北野小学校 教諭 杉原恵美子
団 員	美川中学校 3年	角谷 優希	団 員 城北中学校 3年 酒井 祐輔
団 員	河合中学校 3年	中野 真歩	団 員 六ツ美中学校 3年 新美あかね
団 員	新香山中学校 3年	柴田 有毅	団 員 六ツ美北中学校 3年 太田 絃晶
姉妹都市 ウッデバラ市 9/4(火)~13(木)			
団 長	連尺小学校 校長	福應 謙一	副団長 三島小学校 教諭 杉田ひろ子
団 員	甲山中学校 3年	志毛 陽介	団 員 南中学校 3年 加藤 卓大
団 員	岩津中学校 3年	川端 杏奈	団 員 矢作中学校 3年 牧 慎太郎
団 員	竜南中学校 3年	杉原 裕子	団 員 北中学校 3年 古川芽以子
国際都市 クアラルンプールの市 8/16(木)~23(木)			
団 長	額田中学校 教頭	平岩 和博	副団長 額田中学校 教諭 三浦 敦子
団 員	額田中学校 3年	中島 翼	団 員 額田中学校 3年 山口 修平
団 員	額田中学校 3年	鈴木伶依奈	団 員 額田中学校 3年 鈴木 聡真
団 員	額田中学校 3年	柴田 梨絵	団 員 額田中学校 3年 鈴木 麻友
団 員	額田中学校 3年	尾崎 智浩	団 員 額田中学校 3年 内田みどり
団 員	額田中学校 3年	平松 瑞季	団 員 額田中学校 3年 山口 紗和

◆第51回岡崎市中学校総合体育大会の記録(水泳の部)

種 目	男 子				女 子			
	氏 名	学校名	記録	備考	氏 名	学校名	記録	備考
50m自由形	岩下 悠太	岩 津	26"67		宮地ひかる	甲 山	29"93	
100m自由形	横山 昂暢	竜 南	56"98		杉浦 弘枝	矢 作	1'05"08	
200m自由形	大橋 諒輔	矢 作	2'10"57		大岩 葵	葵	2'22"18	
50m背泳ぎ	西尾 次郎	城 北	32"27		田中 有紗	矢 作	34"84	
100m背泳ぎ	石井蒼一郎	葵	1'07"88		中嶋 友美	矢作北	1'11"28	
50m平泳ぎ	加藤 凌右	竜 海	33"51		川波 恵子	竜 海	37"65	新
100m平泳ぎ	渡部 剣太	矢作北	1'12"87		野沢 好	矢作北	1'23"89	
50mバタフライ	大久保宅登	矢作北	27"48	新	中尾 千恵	葵	32"76	
100mバタフライ	藤井 大立	矢 作	1'03"05		高山 千絵	新香山	1'08"98	
200m個人 メドレーリレー	石井 一気	矢作北	2'22"40		武藤 優紀	城 北	2'42"79	
400m メドレーリレー	石井・渡部 石川・大久保	矢作北	4'21"93	新	中嶋・野沢 天野・谷	矢作北	4'56"10	
400mリレー	大久保・石川 荒井・石井	矢作北	3'59"20		野沢・谷 中嶋・天野	矢作北	4'27"92	
男子総合 優勝:矢作北 2位:竜海 3位:葵				女子総合 優勝:矢作北 2位:甲山 3位:葵				

*表中の数字(3'56"33)は、3分56秒33を表す。

・カ
ツ
ト
三島小
片山知子

プール開き (昭和44年)

写真提供：下山小学校

昭和四十四年八月十五日、待望のプールが完成した。プール完成までには子供たちのためにという学区民の熱い思いがあった。機械のない当時は、山から沢水を引いてプールで使う水を確保するために、つるはし、鍬、スコップ等を使っての大変な手作業であった。

プール開きは、「前畑がんばれ、前畑がんばれ」で有名な前畑(新姓兵藤 秀子氏(ペルリンオリンピックで優勝)を招いて行われた。

その後、平成十二年に改築工事が行われ、十三年三月二十日に現在のプールが完成した。前畑氏からいただいた色紙に書かれた言葉が刻まれた碑が、プールの東に建てられている。



岡崎の教育



「自然を感じる心を持ってほしい」と言われた大平さん。岡崎が「豊かな自然に恵まれた場所である」とも自信を持って話された。こんな身近にある自然を、教師自身が一番感じることができ季節が今なのではないだろうか。時間はある。自然を楽しもうと思う気持ちを持ってほしい。

シ オ ス ア

澄んだ声が市議会議場に響く。昨年度から額田中学校が加わった。どの代表者の声も「よりよい岡崎にしたい」という願いがあふれ、そのみずみずしい発想は市政に反映されてきた。まもなく、今年の生徒市議会を迎える。明日を担う生徒の創意が満ちあふれることだろう。

温室効果ガスを二〇五〇年までに半減することが、主要国首脳会議で合意された。これを実現するためには、わたしたち大人が手本となり、子供たちに、冷房の設定温度を一度上げる、物を大切にするなど、我慢し、足ることを知った生活をする事の重要性を伝えていくことが大切である。

熱い声援が飛び交う中、部活動の試合に力が入る。今までの厳しい練習を生かし、仲間とともに汗を流す最後の夏。納得のいく試合をさせてやりたいとだれもが思う。子供とともに一喜一憂し、一つの目標に燃える戦い。思い出しに残るシーンを、作り上げたい。



- * 真理は現実のただ中にあり 森 信三 致知出版社 ￥1,600
- * 子どもたちよ！ 中日新聞社会部 風媒社 ￥1,200
- * 僕はパパを殺すことに決めた 草薙厚子 講談社 ￥1,500
- * 藤沢周平 未刊行初期短編 藤沢周平 文藝春秋 ￥1,714

* 主題のある人生 神渡良平 PHP研究所 ￥1,700
 在野の人々が人生で挫折を経験し、苦境の中でつかんだ真理。それは、先人の言葉であり、教えであり、また行動をとることから学んだ人生哲学ともいえる。
 本書に登場する森信三、中村天風、安岡正篤、鍵山秀三郎など、先人の知恵を活かした事例は勇気と活力を与えてくれる。「教育は流水に文字を書くようなはかない行為だ。しかし、そのはかないことを、巖壁に文字を刻むような真剣さで行う必要がある」。一隅を照らす生き方にも通じる。